



GNG グローバルニュース

Market News

米ヨーグルト市場の落ち込みは一時的、「今年は回復傾向」と各メーカー

[2019/2/21] [foodnavigator-usa.com]

Nielsen の最新データによると、米国のヨーグルト市場は 2019 年 1 月 26 日までの 1 年間で 3.4% 減を示したが、直近 3 カ月間のデータを見ると、減少は 1.9% に抑えられ、売上の下降は緩やかになりつつある。この 3 カ月間で売上が増加しているのはアイスランドの乳製品 Skyr で 15.8%、ノンデイリーヨーグルトは 39.6% 増だった。一方、これまで躍進を続けてきたギリシャヨーグルトは 6.7% 減となった。米国のヨーグルト市場はピークを迎えたのか。落ち込みは一時的なもので、売上や収益は徐々に回復傾向にあると、各メーカーは楽観視している。



・General Mills

ジェフ・ハーメニング CEO によると、2018 年のギリシャヨーグルトの売上は 8% の減少を示したが、それ以外のヨーグルトについては横ばいの状態という。だが、同社が現在力を入れているのは、Yoplait ブランド「Qui」、「Sour Patch Kids」に代表される伝統的なヨーグルトや子ども向けヨーグルトで、一桁ではあるが売上を伸ばしている。

・Danone

セシル・カバニス CEO によると、北米のヨーグルト市場は競争率が高く、成長は停滞気味である。だが、「停滞は一時的なもので、2019 年は回復への兆しが見える」と Danone 北米のジェフリー・ロスマン VP は予測する。目玉となるのが低脂肪ギリシャヨーグルトの「Two Good」で、糖質が通常のヨーグルトに比べ 85% 少ない点を大きな特徴としている。アーモンドベースの「Good Plants」、ココナッツベースの「Oikos」はビーガンやフレキシタリアン向けとして販売に力を入れている。また、ドゥボイズ（ペンシルベニア州）にも製造工場の建設を計画するなど、植物由来ヨーグルトの生産を拡大していく。

・Chobani

ピーター・マクギネスマーケティングチーフによると、2018 年のギリシャヨーグルト売上は前年比 7.1% 減を示したが、2019 年現時点までの減少は 3.2% と緩やかになっている。一方、通常のヨーグルトも 2018 年は 5.4% 減少したが、2019 年に入り 5.9% 増と盛り返している。北米市場でも、2019 年 2 月 9 日時点で収益は 7.6%、販売数が 8.8% 増加した。Chobani は、子ども向けヨーグルト商品「Gimmies」や、ココナッツベースヨーグルトなど新商品を続々と発表し、新規顧客の獲得に注力する。



顧客満足度指数のスーパー部門で Trader Joe's と Wegmans のみが評価アップ

[2019/2/26] [foodnavigator-usa.com]

米顧客満足度指数(ASCI)が発表され、大手スーパーマーケットチェーンへの満足度が軒並み低下する中、Trader Joe's と Wegmans に限って上昇していることが分かった。ASCI はミシガン大学の研究者が複数の団体の協力を得て 1994 年に開始したもので、米国の消費者の約 30 万人以上に聞き取り調査を行い、国内で販売されている商品やサービスに対する満足度を 100 ポイント満点で評価している。小売業、旅行業、ヘルスケア、テレコミュニケーション、レストランなど多くの業種が評価の対象となる。小売業全体を見ると、2016 年の 78.3 ポイントがピークで、その後 2017 年が 78.1、2018 年 77.4 と下降傾向にある。部門別では、スーパーマーケットが前年比 1.3%減、デパート・ディスカウントストアも同じく 1.3%、オンライン小売は 2.4%、ヘルス・パーソナルケアストアが 2.5%などと、それぞれが減少している。スーパーマーケット部門では、大手の Walmart(-1%)、Target(-1%)、Whole Foods(-2%)、Kroger(-2%)など多くが低下したが、Trader Joe's は 86 ポイントを獲得し、前年(85)比 1%増で 2 年連続のトップとなった。85 ポイントで 2 位に付けた Wegmans も前年比 1%増だった。スーパーを訪れる顧客の意見をみると、「店舗の場所と営業時間」(85)以外ですべて満足度が低下している。「商品の在庫の有無」(79; -2%)、「生鮮食料品の品質」(81; -2%)などとなり、カスタマーサービスに対する評価も「問い合わせの電話対応」(78; -3%)、「店員の対応」(81)と低下気味で、「レジの会計」が 75 で最低評価だった。インターネット部門でも低下傾向は同じだが、これまで他社を圧倒していた Amazon を Costco が上回った評価が目玉を引く。Costco は近年、オンラインやアプリに注力し、その結果、2018 年 7 月以降のオンライン販売の売上が 21%増加した。低コストで良質な商品を提供する自社ブランド、Kirkland に対する高評価がその要因の一つと考えられる。



オメガ 3 脂肪酸市場で中国が欧州を抑え 2 位に浮上、トップは米国

[2019/2/26] [nutraingredients.com]

米オメガ 3 業界団体(GOED)によると、2016~2017 年のオメガ 3 系脂肪酸市場で中国が初めて欧州を抑え第 2 位に躍り出た。シンガポールで開催の Nutraingredients Omega-3 サミットで発表された。GOED の市場調査では、エリア別の市場シェアはトップが米国の 30.5%、中国は 19.9%を占め、欧州の 19.2%をわずかに上回る結果となった。成長率は 6.4%を示した中国に対し、欧州は 3.1%の下降を見せたが、これは欧州のダイエタリーサプリメント全体の売上が減少傾向にあることが原因と考えられる。世界全体のオメガ 3 市場は 2%の成長を遂げた。オメガ 3 系商品をタイプ別にみると、サプリメント使用が最も多く、世界の市場規模は 52.9%、続いて乳児用栄養ミルクが 20.2%、医薬品が 15.4%だった。





臨床栄養市場の成長率は 2025 年までに 8.1%超にーGMI 市場調査

[2019/2/28] [nutraingredients.com]

大手市場調査会社 Global Market Insights (GMI) は、臨床栄養(クリニカルニュートリション)市場の成長率は 2025 年までに 8.1%を超えるという予測を発表した。同市場の拡大は、世界的な高齢化社会の到来により医療費の高騰が見込まれ、予防医療に取り組む医療従事者が急増したためと、同社のアナリストは推測している。調査によると、2018 年の同市場規模は 509 億 6,200 万ドルに達し、2025 年までには 875 億 3,000 万ドルを超える見込みだ。栄養不良や不健康なライフスタイルが、心血管系疾患、糖尿病、卒中といった疾患の要因とだという指摘は多くの専門家から挙がっている。健康の改善や疾患予防の近道が予防的臨床栄養であるという考えが浸透し始めている証拠だと、アナリストは話す。部門別にみると、市場規模が 309 億 8,950 万ドルを超えた乳幼児栄養が最も大きなシェアを獲得している。推進力となっているのは、早産の増加や発展途上国の乳幼児の栄養不良問題の解決策として、高栄養の人工栄養ミルクの需要が増えたことだという。乳製品に過敏な子どもの増加で、豆乳ベースの栄養ミルクも売上が伸びた。成人部門の成長も堅調に推移し、6.1%超が予測される。地域別ではアジア太平洋市場が大きく成長し、欧州、北米と続く。アジア太平洋地域では高齢化が最も大きな要因で、欧州、北米では医療費の急増が挙げられた。中南米市場も急成長を遂げ、ブラジル、アルゼンチンなどの成人の 50%が疾患関連の栄養不良と報告されている。中国では 9.1%以上の成長率が予測され、体力低下を引き起こす高齢者の急増が要因として挙げられた。Nestle、Abbot Laboratories、Mead Johnson など、臨床栄養に力を入れる企業が増加している。いずれも、買収、合併といった戦略を繰り返し、市場拡大中である。



Products News

Kashi 社が「Kashi by Kids Organic Super Food Bites」を新発売

[2019/2/21] [foodnavigator.com]

Gen X 世代(12~17 歳)向けの栄養食品を提供する Kashi 社は、「Kashi by Kids」ブランドから一口サイズのスナック「Organic Super Food Bites」を新発売した。同品はココナッツフラワー、チックピー、アサイー、スイートポテトをベースに柔らかく焼き上げたスナックで、USDA オーガニック、非遺伝子組換え認証を受けている。1 袋(32g)あたりのカロリーは 130kcal で、脂質 6g、炭水化物 21g(食物繊維 3g、糖質 8g)、タンパク質 2g などが含まれる。ピーナツアレルギーの子どものために配慮して、ピーナツは使用していない。フレーバーには「Chocolate bites」と「Mixed berry bites」の 2 種類がある。大手スーパーの Walmart、Whole Foods や Amazon で 1 箱(5 袋入り)約 20ドルで販売されている。



Science News

重篤患者に対する現在の栄養量は不十分、米研究チームが指摘

[2019/2/28] [nutraingredients.com]

米国の研究チームは、重篤疾患患者に対して行われている現在の栄養療法は、免疫強化などを目指す腸または腸内細菌叢の改善という点では最適とは言えないという見解を発表した。University of Louisville 研究チームによると、最適な方法としては、栄養送達のルート、免疫栄養、高タンパク質、臓器特異的調剤使用などの特定指導を総合的に見据えた栄養療法に目を向けるべきとしている。人体の最大の免疫臓器と考えられる腸は、重篤患者に見られるディスバイオシスや免疫低下、多臓器不全に影響を及ぼすと考えられる。つまり、腸の完全性を維持することにより、恒常性、適切な免疫反応、臨床的回復が可能と示唆する。具体的には、経腸栄養法(EN)として精製した半消化態栄養剤を単に与えるだけでは、腸の防衛力を刺激し、腸内細菌叢をサポートするには最適ではない。全粒食品栄養剤や可溶性食物繊維の使用、糞便移植など多くの追加的措置を組み込むことが腸内細菌叢を改善し、重篤患者の回復につながると、研究チームは指摘する。反対に栄養療法計画を誤ると、腸内細菌叢がディスバイオシスや腸バリアの分解などをかえって促進する結果を招くという。また、酪酸の供給をサポートし腸の共生細菌の増殖を助ける発酵性繊維の栄養補給も戦略の一つとして挙げる。同チームは「腸が防衛力を最大に発揮できるような栄養補給を考慮していくべき」と結論付けた。本報告は [Nutrition](#) に掲載されている。



微生物と宿主 DNA 間の情報伝達で産生された一酸化窒素が生命現象に深く関与

[2019/2/28] [nutraingredients.com]

腸内細菌と宿主 DNA との情報伝達により産生された分子が、宿主の健康状態を左右する可能性を米国の研究チームが示唆した。Case of Western Reserve University (米オハイオ州) 研究チームはシー・エレガンスを用いて、微生物と DNA 間の情報伝達について研究を行っているが、そのメカニズムに微生物が産生する一酸化窒素(NO)が関与することを確認した。シー・エレガンスは生物モデルとして様々な研究に利用され、通常の食餌である大腸菌を乳酸菌に変えることで、その寿命の延長が示唆されている。同研究チームによると、シー・エレガンスの腸内細菌が産生した NO は S-ニトロシル化により宿主の多くのタンパク質と結合する。特に、遺伝子の発現調節に関わるアルゴノートタンパク質との結合は、生物の発達に深く関与する。NO は、生体内で血圧制御、心臓機能など様々な機能を担い、さらにタンパク質の翻訳後修飾にも関与することが明らかになっている。生体内で NO が増えすぎると、遺伝子サイレンシングが生じ、健康的な発達を阻害するという。シー・エレガンスでは NO 濃度が上がると、NO 産生細菌を捕食する能力を抑止、あるいは NO 産生力の低い別の細菌を捕食するという現象が生じる。以上のことから、NO シグナル伝達を改善する微生物をヒトの腸に植え付けることで、疾患予防など健康への有効な影響が期待できると研究者は推測するが、「NO と S-ニトロシル化は医学的意義を持つ種間コミュニケーションの一般的モデルであるが、深い研究が必要」と加えた。本研究は [Cell](#) に掲載されている。



プロバイオティクスが軽度認知障害の症状改善に有効である可能性

[2019/2/27] [nutraingredients.com]

ラクトバチルスプラントルム C29 発酵大豆 (DW2009) 含有サプリメントが高齢の軽度認知障害 (MCI) 患者の認知機能を改善する可能性が韓国の研究で示唆された。Dongwha Pharm Institute 研究チームは、55~85 歳の MCI 患者 100 人を 2 群に分け、DW2009 サプリメント (800mg/日) か、プラセボのどちらかを 12 週間摂取してもらった。その後、神経認知機能検査を用いて、被験者の記憶と注意力に関連する認知機能を評価した。また、血漿中の脳由来神経栄養因子 (BDNF) 濃度の変化と認知力との関連を検証した。これによると、プラセボ群に比べサプリメント群のほうが、認知機能検査の注意力と作業・言語記憶のスコアが大きく改善した。特に注意力の分野で改善が目立つ。BDNF は記憶および学習領域に関わる重要な栄養因子だが、サプリメント摂取後、BDNF 濃度が上昇しており、このことから研究者はサプリメントの脳機能促進作用を示唆した。また、被験者の腸内細菌を調べたところ、サプリメント群でラクトバチルス菌の数が有意に増加したことが分かった。プラセボ群には変化が見られなかった。研究者は「現在、注目が浴びている『腸脳軸』をさらに裏付ける結果で、プロバイオティクスは認知機能改善に有効で、しかも安全に利用できる」と結論付けた。さらに、「大豆には、機能促進の働きを示すイソフラボンやサポニンが含まれるが、乳酸菌による発酵過程でその能力が増強される」と推測した。本研究は [Nutrients](#) に掲載されている。



発酵アラビノガラクタンペプチドのプレバイオティクス作用は有望

[2019/2/26] [nutraingredients.com]

発酵過程の小麦由来アラビノガラクタンペプチド (AGP) は強いプレバイオティクス作用を備えている可能性が英国の研究で示唆された。また研究では、抗炎症作用を持つ短鎖脂肪酸 (SCFAs) 濃度の増加も示された。AGP は多くの植物の組織、器官に存在する糖タンパク質で、腸内細菌叢の改善など様々な機能が研究で示唆されている。University of Reading and Rothamsted Research 研究チームは、腸内細菌によるインビトロ発酵 AGP と、フラクトオリゴ糖 (FOS) および小麦アラビノキシラン (AX) のプレバイオティクス作用を比較した。蛍光 in situ ハイブリダイゼーションで腸内細菌数を、また、HPLC を用いて SCFAs 濃度を測定した。これによると、発酵 AGP には発酵 24 時間後に有意なビフィズス菌増殖効果が認められた。また、SCFAs 濃度、特に酢酸濃度の上昇が有意に見られた。さらに、AGP 単体では FOS より効果の発現が遅いが、AGP+AX 混合発酵の場合、発酵後 8 時間でビフィズス菌の数が最大に達し、より効果的であることも示唆された。本研究は [European Journal of Nutrition](#) に掲載されている。



藻類ポリフェノール+クロミウムピコリネートは血糖管理に有望

[2019/2/25] [nutraingredients.com]

藻類由来ポリフェノールとクロミウムピコリネート含有サプリメントは血糖値管理に有望であることがイタリアの研究で示唆された。University of Bologna 研究チームは、InnoVactiv (カナダ) が開発した InSea2® を含有するサプリメント





「Gdue」(Aesulapius Farmaceutici; イタリア)の血糖値改善への有効性を検証した。InSea2®は、藻類のアスコフィラムノドサム(*Ascophyllum nodosum*)とヒバタ(*Fucus vesicullus*)、ミネラルのクロミウムピコリネートをブレンドしたサプリメントで、2017年 self-affirmed GRAS 認証を取得している。研究は、一般的に健康で、空腹時血糖値が100~126mg/dlを示す18歳以上の男女62人を対象にした。グルコース代謝に影響する腎臓障害、糖尿病、処方箋薬服用患者は除外した。被験者はサプリメントかプラセボのどちらかを摂取し、研究開始から3カ月と6カ月後に、空腹時血糖値、食後血糖値、HbA1c、空腹時インスリン値、HOMA 指数などを測定した。これによると、6カ月後でサプリメント群の18.2%に正常血糖値への改善が認められた。プラセボ群は0人だった。研究開始時、被験者の69.7%は空腹時血糖異常、12.1%が耐糖能異常に分類されたが、空腹時血糖異常と耐糖能異常を合わせた割合が研究終了時にサプリメント群で17.2%、プラセボ群は82.8%となった。研究者は「サンプル数が少ないこと、また、終了後の追跡研究を行っていないことなど制限はある」としながらも、InSea2®は血糖値管理に有望と結論付けた。本研究は、[Phytotherapy Research](#)に掲載されている。

Company News

[プロバイオティクスは女性の骨の健康維持に有望 – Probiota 2019](#)

[2019/2/15] [nutraingredients.com]

プロバイオティクスソリューションを提供する Probi 社は、プロバイオティクスが女性の骨の健康維持に有効である可能性を示唆した。世界トップクラスのプロバイオティクスサミット「Probiota 2019」で発表された。今後ますます、女性のヘルスケア市場におけるプロバイオティクスの躍進が期待される。同社によると、女性では2人に1人、男性は5人に1人の割合で、50歳を過ぎてから骨粗しょう症関連の骨折が発生している。特に女性は、骨量の減少が30代から始まり、閉経期頃に加速する。同社はプロバイオティクスが閉経期女性の骨に及ぼす影響を検証した。閉経前期および閉経後期の女性250人に同社商品「Probi® Osteo」(ラクトバチルスプラントルム HeAL9、ラクトバチルスプラントルム HEAL19、ラクトバチルスパラカゼイ 8700:2)かプラセボを1日1回摂取してもらい、1年間経過観察を行った。二重エネルギーX線吸収測定により最も影響を受けやすい腰椎の骨密度を測定したところ、プラセボ群に比べプロバイオティクス群は、骨量減少が78%低下したことを確認した。この影響は閉経期周辺的女性に大きく表れ、85%の低下が示唆された。以上から同社は、プロバイオティクスは骨粗しょう症予防に有効に働くと結論付けている。



[Glanbia 社が Watson 社を 8,900 万ドルで買収、栄養食品事業の成長に弾み](#)

[2019/2/20] [nutraingredients.com]

アイルランドを拠点とする栄養食品メーカー Glanbia 社は、栄養食品原料の開発・製造を行う米 Watson 社(コネチカット州)を8,900万ドルで買収した。Watson 社は、噴霧乾燥型栄養剤、キレート化ミネラル、栄養成分プレミック





ス、マイクロカプセルなど、先進技術を駆使して開発した食品・サプリメント関連商品を幅広く提供している。Glanbia社はこれまでも、複数の企業買収に成功してきた。新しいところでは、2018年10月、ダイエット関連商品で有名なSlimFastを3億4,000万ドルで買収し、その前年にはグリーンスーパーフードで人気を集めたAmazing Grass社を買収している。Glanbia社によると、完全所有子会社の収益は27億ドルを計上し、全体で9%の増収率を示した。販売ディレクターのショブハン・タルボット氏は「今回の買収で、現在の成長が今後も持続する」と、確固たる自信を示した。

Regulatory News

植物性ミルクやチーズに「イミテーション」表示を一全米生乳生産者連盟が市民請願を提出

[2019/2/22] [foodnavigator-usa.com]

全米生乳生産者連盟(NPF)は、現在市販されている植物由来ミルクやチーズなどは生乳由来の乳製品とは異なるため、商品表示に「イミテーション」という用語を加えるよう主張した市民請願を米食品医薬品局(FDA)に提出した。NPFの主張によると、アーモンドミルク、ヘンプミルクなど植物由来商品で成分が栄養的に生乳商品に匹敵しない場合、「イミテーション」の用語を使用すべき(イミテーションミルクなど)で、栄養的に匹敵する場合は、代替を意味する「サブスティチュート」や「オルタナティブ」の使用(ヨーグルトオルタナティブなど)を要求している。「乳製品以外の商品に乳製品と誤解させるような単語の使用禁止を長年にわたりFDAに強く要請し、禁止条項を盛り込んだ提案も提出してきたが、事態はまったく動いていない。そのため市場の混乱はピークに達している。これ以上消費者を惑わさないためにも厳しい規制が必要」と述べ、規制の実施に一步も引かない構えを見せた。一方、植物性食品協会(PBFA)は、NPFが主張する表示「問題」は問題として存在しないと反論、消費者は混乱も、誤った判断もしていないという見解を示した。また、植物性ミルクやチーズは栄養的にも生乳由来の乳製品に決して劣るものではなく、「イミテーション」という品質の過小評価を匂わせる単語を使用することは、憲法で保障された「表現の自由」を損なうものであると強く述べた。さらに、植物性食品メーカーはラベル表示に際して、「ノンデューリー」「デューリーフリー」「プラントベース」という用語を適切に表示していることを主張した。市場調査会社IPSOSが行った、乳製品と植物性食品に対する消費者意識調査(2,006人を対象)によると、48%が半年以内に生乳および植物性ミルクを購入している。そのうち生乳のみを購入した割合は62%で、植物性ミルクのみは12%、両方購入が26%だった。消費者の殆どは、生乳より植物性ミルクのほうが含まれる原料が多いが、ブランドやベースとなる原料によりまちまちと判断している。植物性ミルクのほうが栄養豊富と回答した割合は23%で、タンパク質の含有量が多い、あるいは同等という回答は全体の35%を占めた。



[欧州食品安全機関は酵母ヤロイワの安全性を評価](#)

[2019/2/26] [nutraingredients.com]

欧州食品安全機関(EFSA)は、新規食品として酵母ヤロイワのサプリメント使用の安全性に関する科学的意見書を発表した。欧州委員会からの要請を受け EFSA の栄養食品、新規食品およびアレルギーに関するパネル(NDA)は、サプリメントなどの食品に多用される新規食品として酵母ヤロイワの安全性を評価、3歳以上の小児および成人への使用に関し安全であることを認めた。意見書によると、カプセルまたは錠剤としての使用では、3~9歳なら1日あたり1~2g、10歳以上は2~3gであれば安全とした。また、パウダーの場合、それぞれ1.5~3g、3~6gを安全範囲と判断している。ヤロイワは土壌や水などの環境や肉、乳製品といった高タンパク質の食品から抽出される。100gあたりにタンパク質が45~55g、食物繊維は25g含まれ、食物繊維の主な構成成分はベータグルカン、多糖類複合体となっている。



[米有機取引協会が USDA に対する訴訟で連邦地裁の判断を歓迎](#)

[2019/2/28] [newhope.com]

米有機取引協会(OTA)はこのほど、米農務省(USDA)の「有機畜産の家畜および畜産鶏の飼育管理基準(OLPP)」に関する最終案の撤回を不服とした提訴で、OTAの主張を認めるコロンビア連邦地方裁判所の判断を歓迎した。USDAは、1990年に成立した有機食品生産法(OFPA)に基づいて、オバマ政権の下、全米有機プログラム(NOP)に動物福祉関連の項目を追加するための原案を2016年に提出した。同案には、家畜や鶏のストレスを軽減するための細かい管理規則が盛り込まれた。2017年、最終案が発表され、同年3月に施行される予定だったが、トランプ政権が発足し、施行前の法案見直しが命じられたことでOLPP最終案も施行が延期された。その後、USDAは複数回のパブリックコメント募集を経て、2018年3月、同案はUSDAの権限を越えるものであり、OFPAはNOPに動物福祉を規制する権限を与えるものではないとして撤回を決めた。これに対しOTAは猛反発、初期のパブリックコメントで有機関連業界から圧倒的な支持を得ていたことから、「USDAのあいまいで身勝手な行為は業界や消費者の支持に対する裏切りで、産業全体を傷つけるもの」と申し立て、連邦裁判所に提訴していた。OTAは「今回の判断は有意義であり、今後も有機基準をより強固で明確なものにするため主張し続ける」と話した。